

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月12日

上場会社名　アールピバン株式会社

コード番号　7523　URL　http://www.artvivant.co.jp

代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員　(氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長　(氏名) 樋口 弘司

半期報告書提出予定日　2025年11月14日　配当支払開始予定日　2025年12月22日

決算補足説明資料作成の有無　：　無

決算説明会開催の有無　：　無

上場取引所　東

TEL 03-5783-7171

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (％表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,553	2.3	1,455	22.7	1,459	16.1	913	9.4
2025年3月期中間期	5,426	6.1	1,186	18.4	1,257	29.2	835	28.5

(注) 包括利益　2026年3月期中間期　967百万円 (26.0％)　2025年3月期中間期　767百万円 ( 36.7％)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	100.27	
2025年3月期中間期	81.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	36,597	15,645	42.8	1,718.00
2025年3月期	34,773	15,315	44.0	1,681.75

(参考) 自己資本　2026年3月期中間期 15,645百万円　2025年3月期 15,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		30.00		70.00	100.00
2026年3月期		30.00			
2026年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

2025年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭　特別配当15円00銭　合計30円00銭  
2025年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭　特別配当15円00銭　記念配当40円00銭　合計70円00銭  
2026年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭　特別配当15円00銭　合計30円00銭  
2026年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭　特別配当15円00銭　合計30円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	11,000	2.5	2,100	0.7	2,050	9.6	1,200	5.2 131.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

## 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	9,107,516 株	2025年3月期	9,107,516 株
2026年3月期中間期	447 株	2025年3月期	447 株
2026年3月期中間期	9,107,069 株	2025年3月期中間期	10,250,581 株

期末自己株式数

期中平均株式数(中間期)

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、株価の上昇が続いているものの、米国の関税政策等、海外情勢や海外経済の減速、円安や資源高、物価高の影響もあり、また、住宅投資、設備投資のマイナス成長となる見込みも見られることから、景気は不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは、2025年4月度よりスタートした第42期は、主力の「アート関連事業」を中心に、成長スピードを加速させるよう、一段と事業運営に注力いたしました。

更に中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、多くのお客様に催事会場にお越しいただいており、「絵のある豊かな生活(くらし)」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行ってまいりました。

「健康産業事業」におきましては、溶岩ホットヨガ店舗を運営しておりますが、コロナ禍で大幅に減少した会員数の新規獲得と業績の回復を図り、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいります。

当中間連結会計期間の業績は、売上高5,553百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益1,455百万円(同22.7%増)、経常利益1,459百万円(同16.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は913百万円(同9.4%増)となりました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益の増加の主な要因は、アート関連事業において催事にかかる経費を抑えることができたこと及び前期において金融サービス事業において貸倒引当金の販売費及び一般管理費への計上額が多かったこと等によります。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

#### ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

この結果、売上高は4,256百万円(同3.7%増)、営業利益は819百万円(同32.3%増)となりました。

営業利益の増加の主な要因は、催事にかかる経費を抑えることができたことによります。

#### ◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業(以下、クレジット事業といいます)を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は854百万円(同2.7%増)、前期に計上額が多かった貸倒引当金の販売費及び一般管理費への計上額が減少したことにより、営業利益は565百万円(同15.1%増)となりました。

#### ◆健康産業事業

ホットヨガ事業におきましては、新規会員の獲得と退会防止に注力し、不採算店舗の閉店を行ってまいりました。

しかしながら、売上高は459百万円(同9.1%減)、営業利益は42百万円(同8.9%減)となりました。

売上高の減少の主な要因は、不採算店舗を閉店したことによります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は32,994百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,313百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の売却等で現金及び預金が2,067百万円増加したこと、クレジット事業の割賦債権取扱高増加等により売掛金が1,401百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,489百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の売却等で投資有価証券が1,483百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は36,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,824百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は18,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,218百万円増加いたしました。これは主に、版権等の販売が順調に推移したことにより前受金が1,245百万円、短期借入金が575百万円、割賦利益繰延が329百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,259百万円となり、前連結会計年度末に比べ724百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が699百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は20,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,494百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は15,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ330百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が637百万円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益が913百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.8%（前連結会計年度末は44.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において連結業績予想の範囲内で推移しており、2025年5月15日に公表しました通期の連結業績予想に変更はございません。連結業績予想の概要の説明は2025年5月15日に公表しました「2026年3月期 決算短信」をご覧ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,752,535	7,820,402
売掛金	16,013,774	17,415,435
商品及び製品	7,171,403	7,014,979
仕掛品	20,710	19,177
原材料及び貯蔵品	104,009	95,283
前払費用	200,810	188,032
その他	584,580	601,031
貸倒引当金	△166,767	△159,431
流動資産合計	29,681,055	32,994,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,204,755	1,186,154
減価償却累計額	△955,209	△957,569
建物及び構築物（純額）	249,545	228,584
土地	237,367	237,367
その他	348,525	363,216
減価償却累計額	△295,203	△301,218
その他（純額）	53,322	61,998
有形固定資産合計	540,235	527,950
無形固定資産		
その他	116,609	121,839
無形固定資産合計	116,609	121,839
投資その他の資産		
投資有価証券	2,336,716	853,189
長期貸付金	212,000	152,000
敷金及び保証金	229,854	228,347
繰延税金資産	251,867	314,686
退職給付に係る資産	11,904	12,309
その他	1,528,577	1,527,990
貸倒引当金	△135,347	△135,267
投資その他の資産合計	4,435,572	2,953,256
固定資産合計	5,092,417	3,603,046
資産合計	34,773,472	36,597,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	394,238	466,628
短期借入金	7,618,893	8,194,710
1年内返済予定の長期借入金	1,484,152	1,440,232
リース債務	24,144	24,341
未払法人税等	440,436	442,912
前受金	2,748,854	3,994,271
割賦利益繰延	2,836,292	3,166,263
賞与引当金	57,200	59,137
資産除去債務	30,556	28,500
その他	839,713	875,888
流動負債合計	16,474,481	18,692,885
固定負債		
長期借入金	2,539,490	1,840,334
リース債務	82,189	69,969
退職給付に係る負債	135,885	138,863
資産除去債務	223,920	208,225
その他	1,650	1,720
固定負債合計	2,983,135	2,259,112
負債合計	19,457,617	20,951,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,863,995	1,863,995
資本剰余金	1,920,378	1,920,378
利益剰余金	11,537,393	11,813,083
自己株式	△367	△400
株主資本合計	15,321,399	15,597,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,476	43,473
退職給付に係る調整累計額	6,931	5,428
その他の包括利益累計額合計	△5,544	48,901
純資産合計	15,315,855	15,645,958
負債純資産合計	34,773,472	36,597,956

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,426,005	5,553,149
売上原価	1,601,721	1,477,374
売上総利益	3,824,283	4,075,774
販売費及び一般管理費	2,637,652	2,620,183
営業利益	1,186,631	1,455,590
営業外収益		
受取利息	5,159	5,438
有価証券利息	43,214	25,567
受取配当金	1,971	4,651
投資事業組合運用益	27,887	25,088
保険解約返戻金	143,925	—
貸倒引当金戻入額	134	180
その他	9,492	3,804
営業外収益合計	231,785	64,730
営業外費用		
支払利息	43,703	57,646
為替差損	111,409	1,165
貸倒引当金繰入額	—	100
その他	6,211	2,371
営業外費用合計	161,324	61,283
経常利益	1,257,091	1,459,036
特別利益		
固定資産売却益	3,432	—
特別利益合計	3,432	—
特別損失		
固定資産除却損	4,415	—
投資有価証券売却損	—	214,883
店舗閉鎖損失	136	14,092
減損損失	1,164	—
特別損失合計	5,716	228,976
税金等調整前中間純利益	1,254,807	1,230,060
法人税、住民税及び事業税	363,842	406,470
法人税等調整額	55,878	△89,595
法人税等合計	419,720	316,875
中間純利益	835,086	913,185
親会社株主に帰属する中間純利益	835,086	913,185



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	835,086	913,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,934	55,949
退職給付に係る調整額	△1,487	△1,503
その他の包括利益合計	△67,422	54,445
中間包括利益	767,664	967,631
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	767,664	967,631
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,104,371	816,472	505,161	5,426,005	—	5,426,005
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	15,240	—	15,240	△15,240	—
計	4,104,371	831,713	505,161	5,441,245	△15,240	5,426,005
セグメント利益	619,131	491,459	46,966	1,157,557	29,073	1,186,631

(注) 1. セグメント利益の調整額29,073千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,256,672	837,199	459,277	5,553,149	—	5,553,149
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	17,342	—	17,342	△17,342	—
計	4,256,672	854,541	459,277	5,570,491	△17,342	5,553,149
セグメント利益	819,251	565,828	42,764	1,427,845	27,745	1,455,590

(注) 1. セグメント利益の調整額27,745千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式会社Orsayによる当社株式に対する公開買付けの結果)

株式会社Orsay（以下「公開買付者」といいます。）は、2025年8月29日、当社の普通株式を金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。以下「法」といいます。）に基づく公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決定し、2025年9月1日より本公開買付けを実施していましたが、本公開買付けが2025年10月28日をもって終了いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 買付け等の概要

(1) 公開買付者の名称及び所在地

株式会社 Orsay  
東京都品川区東品川四丁目13番14号

(2) 対象者の名称

アールビバン株式会社

(3) 買付け等に係る株券等の種類

普通株式

(4) 買付予定の株券等の数

株券等の種類	買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
普通株式	6,022,771 (株)	2,987,200 (株)	－ (株)
合計	6,022,771 (株)	2,987,200 (株)	－ (株)

(5) 買付け等の期間

① 届出当初の買付け等の期間

2025年9月1日（月曜日）から2025年10月28日（火曜日）まで（39営業日）

② 対象者の請求に基づく延長の可能性

該当事項はありません。

(6) 買付け等の価格

普通株式1株につき、金1,670円

2. 買付け等の結果

本公開買付けにおいては、応募株券等の数の合計が買付予定数の下限（2,987,200株）に満たない場合は、応募株券等の全部の買付け等を行わない旨の条件を付しましたが、応募株券等の数の合計（1,947,759株）が買付予定数の下限（2,987,200株）に満たなかったため、公開買付開始公告及び公開買付届出書（その後提出された公開買付条件等の変更の公告及び公開買付届出書の訂正届出書により訂正された事項を含みます。）に記載のとおり、応募株券等の全部の買付け等を行いません。

(譲渡制限付株式報酬制度としての新株式の発行)

当社は、2025年11月12日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度として新株式の発行を行うことについて決議しました。

1. 発行の目的及び理由

当社は、2019年5月15日開催の取締役会及び2019年6月21日開催の第35期定時株主総会において、当社の取締役（社外取締役を除きます。）を対象に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、譲渡制限付株式報酬制度を導入いたしました。

2. 発行の概要

- ① 払込期日 2025年12月1日
- ② 発行する株式の種類及び数 当社普通株式 44,800株
- ③ 発行価額 1株当たり 2,126円
- ④ 発行価額の総額 95,244,800円
- ⑤ 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数 当社取締役 4名 44,800株  
(社外取締役を除く。)